



# 野生動物対策の状況

園農林課林業振興室  
野生鳥獣専門員  
☎0167 (56) 2174

## エゾシカ

12月中は農地での活動が徐々に減り、林内を中心とした冬の行動パターンに移りました。捕獲は概ね順調です。昨年の1月は例年になく多くのシカが見られ、捕獲数も増えました。今年はどうなるか、注視しているところです。



## ヒグマ

すでにほとんどの個体が冬ごもりに入っているものとみられます。これは通常、痕跡や目撃などの活動情報が途切れることで間接的に察せられるのですが、今期は酪農学園大学の調査で、電波標識を装着した2個体のうち1頭が、トマム山で11月27日ごろには早くも穴に入ったことがわかりました。いま1頭は通信不良で見失っていますが、12月14日まで活動していたことが分かっています。

令和3年は市街地付近への出没対応、農業被害対応は多かったものの、幸い人身被害なく終えることができました。皆さまのご努力の成果であると思えます。また新たな研究により次々と発見もありました。日頃の情報収集の結果と併せ、広報紙やイベント等を通じて皆さまにお伝えしてまいります。



### ◆猟区の入猟対応について◆

10月から12月の累計は、一般の入猟対応が11回19日間、北海道のエゾシカ捕獲技術研修が8回16日間、シカ捕獲数17頭となりました。研修では道内各地から27人の捕獲従事者が来村し、猟区の枠組みや処理施設を活用して技術習得に励みました。

### ◆その他◆

村の狩猟者養成事業により、阿部貴裕さん(字中央)が捕獲従事者に加わりました。今後、他の従事者とともに技術の研鑽に努めながら、地域の野生鳥獣対策に励んでいただきます。ご承知のほど、よろしく申し上げます。

# こちら駐在所です

園占冠駐在所  
☎0167 (56) 2110

## 冬道における交通事故の防止 ストップ・ザ・交通事故～めざせ 安全で安心な北海道～

### 余裕を持った運転を

冬道は天候や道路状況により渋滞が発生し、目的地までに時間がかかります。目的地までの天気や道路の状況を事前に把握して、時間に余裕を持って出発しましょう。

### スピードダウンと慎重な運転を

冬道では、スリップによる正面衝突などの交通事故が多発しています。特に日かげや橋の上、トンネルの出入り口は滑りやすくなっていますので、スピードダウンと道路状況に合わせた慎重な運転を心がけましょう。

### 『急』のつく運転操作は危険

急発進、急ハンドル、急ブレーキといった『急』のつく運転操作はスリップにつながり大変危険となりますのでやめましょう。

### 交差点に注意

雪山で見通しが悪い交差点などでは、「車が来ているかもしれない」「歩行者が横断するかもしれない」と予測して、徐行して安全確認を徹底しましょう。

### 悪天候に注意

吹雪や大雪など悪天候時の運転は、吹きだまりや視界不良による立ち往生等の危険が伴いますので、不要な外出は控えましょう。やむを得ず車で外出するときは、事前に道路情報を確認するとともに、防寒具やスコップ等を準備しましょう。



# 生涯学習の窓

教育・文化・スポーツの  
ホットな情報をお届けします。

園教育委員会社会教育担当  
☎0167 (56) 2183

## 社会教育事業のご紹介

教育委員会の仕事には「社会教育」と「学校教育」があります。学校教育は「学校での子どもたちの教育」を担当しますが、一方の社会教育は「学校教育以外のすべての教育」を担当しています。これは、学校を卒業した成人後の学びや就学前の学び、児童生徒の放課後や休日の学びなどを含む非常に幅広い分野で、生涯学習ともいわれます。人生100年時代といわれる昨今、急激に変化していく社会で暮らしていくには、学校だけでなく生涯にわたって学び続けていかなければなりません。そのような中で、「大人だけど習い事や新しいことを始めてみたい」「退職したけど今までの経験を何かに活かしたい」「休日に子どもたちに思いっきり体験活動をさせてみたい」といった、さまざまなニーズや課題に添えていくのが社会教育の仕事です。また、こうした『個人の学び』を促し、それをみんなが共有して交流しながら

盛り上げていくことで地域全体を元気にしていくことも社会教育に求められる役割です。しかし、これだけ幅広い分野の事業すべてを、行政だけで企画・管理して実行していくことはできません。地域の皆さんの参画や協力のもとで成り立っています。昨年も新型コロナウイルスで大変な中、多くの方々からお手伝いを頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。また、社会教育では、皆さんの事業への意見やアイデアをお待ちしています。村民の皆さんの中に、「こんなことをしてみたい」「みんな地域を盛り上げたい」そんな想いをお持ちの方がいらつしやいましたら、社会教育担当☎0167(56)2183までお気軽にご相談ください。

### 「社会教育事業について」

- 公民館活動 (コミュニティプラザの開放・各種講座の企画・無料公設塾・英会話教室など)
- 芸術・文化活動 (巡回劇場公演・図書室・ブックフェスティバル・文化団体への補助金など)
- 地域学校協働活動 (学校支援ボランティア・放課後キッズスペースなど)
- スポーツ活動 (学校開放事業・野球場やプールといった体育施設の管理・子ども水泳教室など)
- 自主創造プログラム (村民の皆さんが企画した事業を社会教育担当がサポートします)
- 村の行事の企画 (村民スポーツレクリエーション・文化祭・成人式など)

